

労働組合、支援団体、弁護団、支援者の皆様へ

JAL 被解雇者労働組合の結成について

私たち JAL 不当解雇撤回争議団に対する日頃のご支援、誠にありがとうございます。争議は 11 年目となっております。この間、全国に広がる多くの方々からの物心両面のご支援があつてこそ、今日まで、粘り強い闘いが継続できているものと心から感謝申し上げます。

また、昨年からは国会議員の方々も超党派で JAL 争議の解決に向けてご尽力されるなど、新しい動きも出てきております。

こうした状況下ではありますが、2010 年 12 月に解雇され、その後 60 歳を迎えた山口、清田、山崎の 3 名は組合員資格を失ったまま、9 年近く団体交渉など労使交渉に一切出席できず今日に至っております。そこで、私たち 3 名は現状を打開するために、自ら団体交渉を申し入れて納得いく解決を目指し、2021 年 4 月 4 日に「JAL 被解雇者労働組合」を結成致しました。

私たち 3 名は、現役時代には 30 年に亘って、連続する日航事故の背景にある分裂差別の労務政策に反対して闘ってきました。今回の組合結成については様々のご意見が寄せられておりますが、私たちは決して争議団や組合を分断させることにならないように、これまで通り乗員争議団の一員として、日航内労組とも連携、協力しながら闘いを進めていく所存です。皆様のご理解とご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

2021 年 4 月 4 日

JAL 被解雇者労働組合
委員長 山口宏弥